



Vol. 2
2018年5月
発行責任者：
自由民主党
岩手県支部連合会

自民党

自由民主党 いわて県連だより



ご挨拶

衆議院議員 鈴木 俊一

去る4月19日、衆議院議員在職二十五年表彰を受けました。これも一重に永年にわたる岩手の皆様のご支援の賜物であり、衷心より感謝申し上げます。受彰を機に決意も新たに復興の完遂とその先の新しい東北、岩手を創るため全力を尽して参ります。

さて、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会まで約800日となりました。2020年東京大会は「復興五輪」です。あの大震災で国際社会から頂いた支援に対し感謝の気持ちを込めて、復興がここまで進んだという姿を世界に発信する機会にしなければなりません。オリンピック・パラリンピックの招致が決定した当初、私達被災地では「復興が佳境で、とてもオリンピックどころではない」、「オリンピックは東京での催しで自分達には関係ない」といった空気がありました。そのような事では

「復興五輪」は単にタイトルだけで中味のないものになってしまいます。私は大臣就任以来、被災地の者として自分達と東京大会との距離を縮めるために取り組んできました。その一つが『復興「ありがとう」ホストタウン』の創設です。おかげ様で被災自治体を中心に6市村が手を上げて下さり、通常のホストタウンを加えると県内で8自治体をホストタウンとして登録することが出来ました。ホストタウンは東京大会参加国と自治体が提携し、事前合宿や文化交流を行う取り組みです。又、被災地の食材や木材の積極的活用、更には聖火リレーも被災三県には3日間の日程を割り当てると共に、事前に聖火を県内で展示するなどして、被災地と東京大会との関わりを強め「復興五輪」につなげていきたいと思っております。

前年2019年のラグビーワールド杯と共に、2020年東京大会が成功するよう、担当大臣としてその職責を果たして参ります。



在職25周年表彰(4/19)

青年局 全国一斉街頭行動を実施

18歳選挙権・憲法改正の議論を啓発



全国の青年部・青年局では去る4月15日毎年恒例の「青年部・青年局全国一斉街頭行動」と題した街頭演説会を開催いたしました。今回は「私たちが決める!この国のかたち」をテーマに各都道府県連の青年組織が主体となり、全国約100ヶ所で行われ、岩手県では、北上市内と奥州市内の2箇所を実施しました。党青年局次長の藤原崇衆議院議員(岩手三区)を先頭に、県連青年局役員のほか、昨年結成した学生部からも参加を頂き、18歳選挙権による政治参画の第一歩への期待や、憲法改正の必要性について、熱い思いを訴えました。

都道府県議会議員研修会の開催

党本部と地方組織が結束確認



党本部主催による都道府県議会議員研修会が4月20日に東京都内で開催され、本県からは4名の県議会議員が参加しました。同研修会は来年の統一地方選挙に向けた党本部と地方組織の再構築、重点政策の情報共有を目的に3部形式で開催され、第1部では「憲法改正」について細田博之党憲法改正推進本部長等からの説明、第2部では「働き方改革」「生産性革命・人づくりに革命」「地方創生」「外交・安全保障」の4つの分科会に分かれ、担当役員による政策説明、それぞれの参加者からは切実な現状を踏まえた意見や幅広い分野における質問が出されました。第3部では日米首脳会談から帰国したばかりの安倍晋三総裁が駆けつけ時局講演が行われました。トランプ大統領との間で共有した北朝鮮への対応方針の説明や、東日本大震災からの復興や地方分権改革などに全力を挙げるとともに農林水産業を守り抜く姿勢等が示されました。